

フロッカー



1 「フロッカー」とは

フロッカーは、体育館などのフロアで行うカーリングで、木製ストーンを使用し、目標ストーンへいかに近づけるかを競うペタンクなどと同じ目標接触型ゲームです。

2 用具

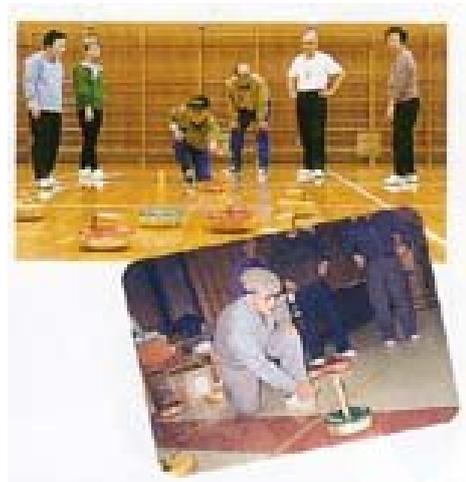
ターゲットストーン（グリーン） 1個
フロッカー（レッド、イエロー） 各3個

3 場所

平坦な床面か、平坦な硬いところ

4 人数

シングルス（1対1）
ダブルス（2対2）
トリプル（3対3）
フォース（4対4）



5 競技の進め方

両チームの代表は、ジャンケンで先攻を決め、（以後、セット内に先攻権は異動する）勝ったチームの1人がグリーンゾーンに向け、送球ゾーン内よりターゲットを送球する。（送球とは、ターゲットやフロッカーが手から離れ、停止するまでを言う。その間、身体がライン触れたりライン外に出てはいけない）グリーンゾーンにターゲットが停止しない場合は無効となり、もう一度やり直す。2回とも停止しなかった場合は、相手チームに権利が移るが、フロッカーの送球は最初に先攻権のあるチームから行う。

先攻チームはレッドのフロッカーを、後攻のチームはイエローのフロッカーを使用する。（セット毎にフロッカーは交換する）

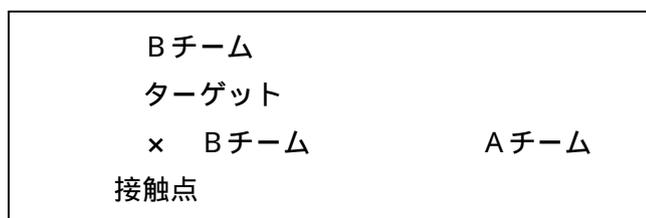
ターゲットがグリーンゾーン内に停止した後に、先攻チームの1人がターゲットに向けフロッカーの送球を始める。

続いて後攻チームの1人が送球を行う。（先攻のフロッカーが停止しないうちに送球してはいけない）

その結果、ターゲットに近いチームが優勢、遠いチームが劣勢となり、いずれの場合も次の送球はターゲットより遠いチームより行う。（逆転するまで送球

する)

下図のように、Bチームが2個目のフロッカーを送球した結果、ターゲットに近かったAチームのフロッカーを弾きターゲットに接近した場合、次の送球権はAチームに移り、ターゲットに相手チーム(Bチーム)より近づくまで送球を続ける。 図



ライン上での停止は全て有効。また、送球中一度コート外に出たフロッカーが再びコート内に戻って停止した場合でも有効となる。

両チームともすべてのフロッカーを送球して、セットやゲームは終了する。

6 得点と勝敗

9点先取したチームが勝ちとなり、ゲームは終了する。その他、規定セット方式(3セットや4セットなど)での得点により勝敗を決定する方法もある。

得点はターゲットを中心に、最も近いフロッカーのチームに入る。

ターゲットに最も近い相手チームより内側にある自チーム全てのフロッカーの個数がそのまま得点となり、1個1点と計算。

計測は、簡易メジャーロープの場合、ターゲットのセンター棒にリングをかけ、ロープの一方を最も近いフロッカーの任意の側面部に合わせ、他フロッカーとの距離を測定する。

両チームのフロッカーがターゲットから同距離の場合のみ、両者に得点が入るが、通常は、両チームのどちらかが0点になる。

7 その他の判定

レッドゾーン内にあるフロッカーも有効。

双方のフロッカーがターゲットに対して同距離の場合は、後に近づけたチームが次に送球する。

送球したフロッカーがターゲットを弾きだした場合、そのフレームは終了する。多々ターゲットを弾き出したチームは、相手チームに2点または未送球のフロッカーのいずれが多い方を得点として与える

送球させたフロッカーがグリーンゾーン内の別のフロッカーを弾き、そのフロッカーによってさらにターゲットがコート外に弾き出された場合にも前項と同様である。

送球したフロッカーによって他のフロッカーがコート外に出された場合は、コート外に出されたフロッカーは無効となる。

